



環境と調和し、安全・快適で便利なまちづくり ● 防災・消防・救急

住んでいる市に望むことは、いろいろありますが、やはり大切なのは安心して住めるまちであるということ。例えば災害が起こっても、万全の体制で臨みたいものです。そこで、美馬市では新たに「危機管理課」を設け、消防署とともに業務に当たっています。

Q 危機管理課のおもな仕事を教えてください。

A 危機的状況というのは、大きく3つを想定しています。地震・台風などの自



防災訓練

然災害の危機、ミサイル攻撃などの武力攻撃事態、新型インフルエンザなどの感染症等のまん延の3つです。そうした危機が美馬市に襲いかかってきたときに、少しでも被害をくい止めるために、計画を立て、準備態勢を整えているのです。この計画を具体的に言えば、「美馬市地域防災計画」、「美馬市国民保護計画」、「美馬市危機管理計画」になります。また、美馬市は吉野川や穴吹川の出水により、昔から水害に悩まされてきました。そこで、「美馬市水防計画」もしっかりと立てています。

Q その計画の中で、特に力を入れている取り組みを二つ教えてください。

A もちろん、どれも重要な仕事ですが、阪神淡路大震災の教訓を考えてみても、地域住民のみなさんの助け合いの力が危機的状況を救います。そこで、自主防災組織を育成することに力を注いでいます。自主防災組織の立ち上げには、危機管理課、消防署、社会福祉協議会などが連携して取り組んでいます。まずは説明会を実施、次に参加者が自分たちの住む地域の地図を囲みながら災害時の対応を考えていくという図上訓練、次に規約を作り協力員などを決定し、実際に防災訓練も行います。こうして実際に動ける組

織を作りあげて行きます。こうした組織を中心に災害時には、全員が協力して作業を行うことが大切です。



美馬市消防本部

〔特派員コメント〕

一人ひとりが、自分の身を守るのはもちろん、みんなのことを考えて、できることを確実に実行して行くことが大切。また、日ごろのコミュニケーションが、災害時にも役立つということを学びました。

また、消防庁舎にある消防本部では、火災予防などに関する予防課、警防課、救急救助などに関わる救急救助課があることなども教えてもらいました。

脇町中学では、プラスチックスクールで「災害から地域(命)を守ろう」というテーマで勉強し、「脇町レスキュー隊」を結成して、防災マップを作成したり、救急救命の訓練などをしました。防災は、年齢に関係なく、市民みんなの問題なんですね。

Column <コラム>

揖東自主防災会



会長 新居 和男さん

春日・揖東南・揖東北の3つの自治会で構成された揖東自主防災会は、防災・防犯活動に積極的に取り組み、平成17年には総務省消防庁「地域安心安全ステーションモデル地区」に選定されました。

ほか団体とも連携し、防災訓練や防犯活動に加え、子どもたちの通学の安全を守る活動も進めています。

